

# 講演会

## 高次脳機能障害が よくなるということ

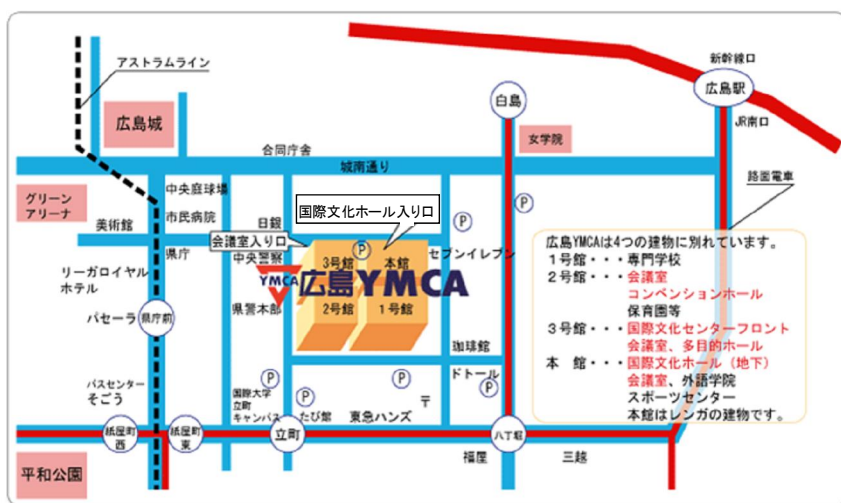
高次脳機能障害の当事者や家族、治療・支援者にとって、障害がよくなるということの意味をどのように理解すればよいでしょう

高次脳機能障害という言葉が一般に知られるようになりましたが、今でも高次脳機能障害の人たちが日常生活の中で、どのような困難に直面しているのかよく知られていません。

高次脳機能障害の人たちとその家族が、どのように障害を受け入れ、生活上の問題に対処し、自立した日常生活をおくればよいのかを米国の治療・リハビリを例に考えます。

**とき** 2013年2月24日（日）午後1時～4時

**ところ** 広島YMCA国際文化ホール  
広島市中区八丁堀7-11 Tel. 082-227-6816



○市内電車「立町」駅下車、徒歩3分  
○JR広島駅からタクシーで10分

**参加費** 1,000円（当日、会場でいただきます）

**定員** 250人

主催●NPO法人高次脳機能障害サポートネットひろしま  
社会福祉法人 朝日新聞厚生文化事業団  
後援●NPO法人日本脳外傷友の会

# 高次脳機能障害がよくなるということ

P R O G R A M

13:00   13:30	『高次脳機能障害を理解する』 岡本隆嗣さん
13:30   14:15	『当事者と家族が感じること～米国の 通院プログラムを体験して』 立神粧子さん
	休憩
14:30   16:00	シンポジウム 『高次脳機能障害の治療とその意味』 岡本隆嗣さん(コーディネーター) 小澤富士夫さん 立神粧子さん 本多留美さん

## 申込方法

参加希望のすべての方の①お名前(ふりがな)②〒・ご住所③TEL・FAX④ご職業を明記の上、下記までFAX、はがき、メールのいずれかでお申し込みください。

なお申し込み受け付け後、講演会の1週間前に聴講券をお送りします。参加費(1,000円)は、当日会場でお支払いください。

## ■申込先

高次脳機能障害サポートネットひろしま

「講演会」係

〒731-0154広島市安佐南区上安2-30-15

ヘルテガ-デン内

Tel.082-847-0031 Fax.082-847-0032

E-mail : ko-jinet@aioros.ocn.ne.jp

## ■内容のお問い合わせは

朝日新聞厚生文化事業団

Tel.06-6201-8008 Fax.06-6231-3004

<http://www.asahi-welfare.or.jp/>

P R O F I L E

おかもと たかつぐ  
岡本 隆嗣さん

## ●西広島リハビリテーション病院病院長

2001年に東京慈恵会医科大学を卒業し、リハビリテーション(以下リハ)医学講座に入局。03年から神奈川リハ病院にて脳外傷のリハ病棟を担当し、高次脳機能障害のある人を中心に診療を行う。その後、07年から西広島リハ病院で回復期リハ病棟を担当。11年から現職。

おざわ ふじお

小澤 富士夫さん

## ●元ヤマハ株式会社・ロンドン&フランクフルト アトリエ室長/高次脳機能障害当事者

東京藝術大学音楽学部卒業。金管楽器の研究開発責任者として9年間ヨーロッパに赴任。帰国後、くも膜下出血により高次脳機能障害が残存。2004~05年、ニューヨーク大学Rusk通院プログラムに参加し、症状が劇的に改善する。

たてがみしょうこ

立神 粧子さん

## ●フェリス学院大学音楽芸術学科教授/「前頭葉機能不全その先の戦略~Rusk通院プログラムと神経心理ピラミッド」(医学書院)の著者/当事者の家族

東京藝術大学音楽学部卒業。シカゴ大大学院より芸術修士号、南カリフォルニア大大学院より音楽博士号取得。ピアニスト・教育者の経験が評価され、Ruskより治療体験記発表の承諾と推薦を受けて執筆、出版した。

ほんだ るみ

本多 留美さん

## ●県立広島大学コミュニケーション障害学科准教授 /言語聴覚士

1996年から、県立広島大学コミュニケーション障害学科の前身、広島県立保健福祉短期大学言語聴覚療法学科の助手として、臨床と教育に携わる。附属診療所で出会った高次脳機能障害の当事者・家族が広島で友の会を立ち上げたのを機に、一緒に活動している。